

## 【2】長崎市（地域）救急実態調査

### ① 地域背景

長崎地域の実態調査では、長崎市および隣接する2町（下表）における救急車で搬送された傷病者の搬送先の医療機関より提出された報告書をもとに解析を行った。

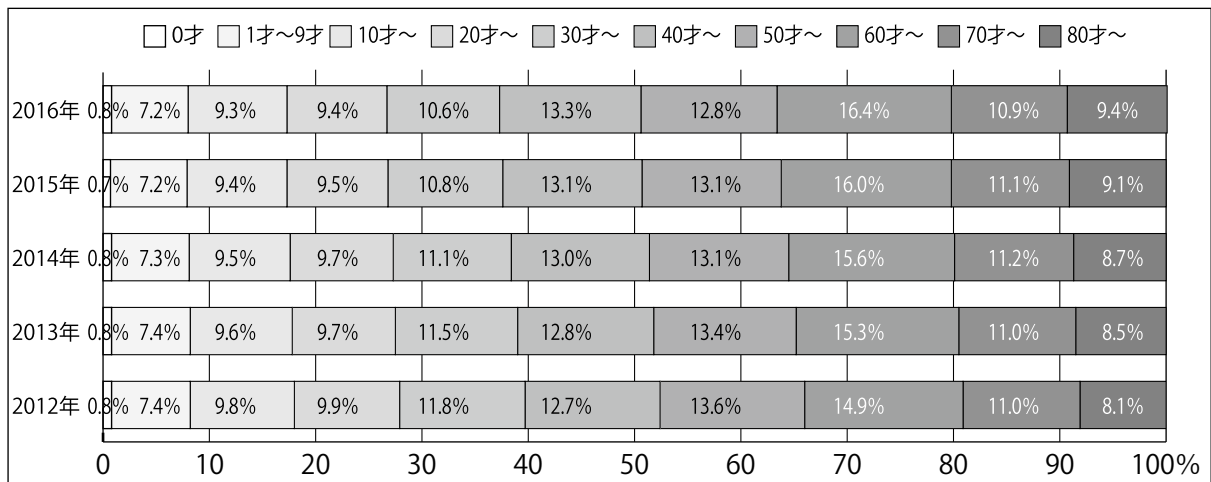


市町村別人口 高齢者比率

	2016年10月		2015年10月		2014年10月		2013年10月		2012年10月	
	人口	65才以上	人口	65才以上	人口	65才以上	人口	65才以上	人口	65才以上
長崎市	426,578	31.1%	429,508	30.2%	433,514	28.5%	436,029	27.5%	439,016	26.6%
長与町	42,550	24.6%	42,548	23.6%	42,321	23.1%	42,300	22.1%	42,616	20.8%
時津町	29,855	23.9%	29,804	23.1%	30,104	21.9%	30,114	20.8%	30,010	19.8%
計	498,983	30.1%	501,860	29.2%	505,939	27.7%	508,443	26.6%	511,642	25.7%

2016年には50万人を下回り、5年前より高齢者比率が5%上がり65才以上の高齢者比率は30%を超えた。また、長崎地域では長崎市の人口減少が特に目立った。

年度別年齢構成



## ② 総合分析

### 「1」回収率と内訳

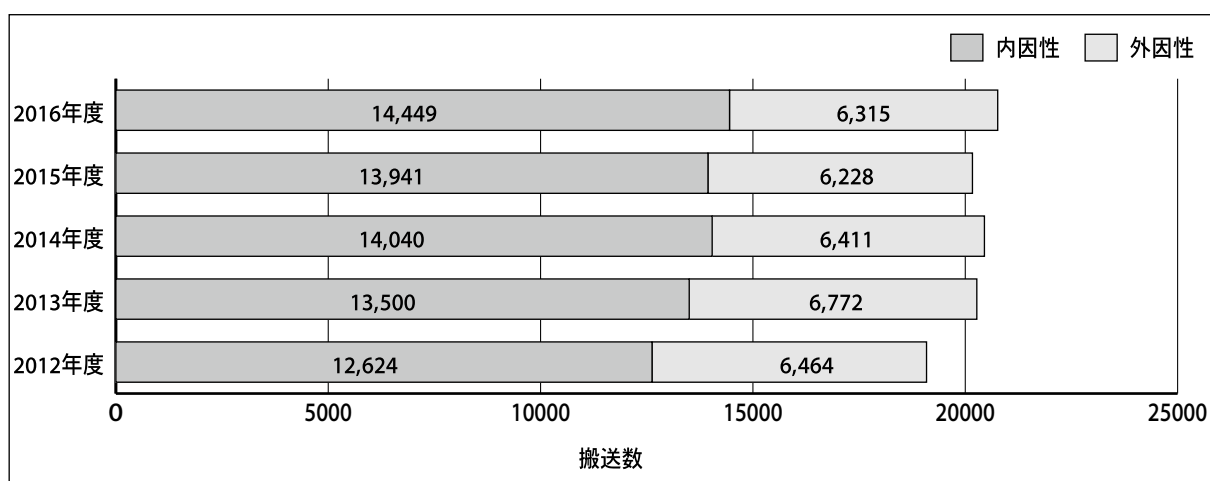
今回、2015年4月1日から2017年3月31日までの2年間の集計を行ったが、2016年度には「総搬送数」は初めて22,000件を超えた。「回収率」に関して2016年度は92.4%と低下している為、改善対策が必要と考える。各医療機関から報告書が回収され記載不十分・不明分を除いた2015年度20,169件(集計率93.3%)、2016年度20,764件(集計率91.3%)について集計・分析を行った。

### 長崎地域救急搬送

	2016年度			2015年度			2014年度	2013年度	2012年度
		前年比	差異		前年比	差異			
総搬送数	22,740	105.2%	1,114	21,626	101.1%	242	21,384	21,260	20,895
総回収数	21,013	102.1%	426	20,587	100.9%	185	20,402	20,083	19,094
回収率	92.4%	97.1%	-2.8%	95.2%	99.8%	-0.2%	95.4%	94.5%	91.4%
記載不十分・不明	249	59.6%	-169	418	-853.1%	467	-49	-189	6
集計数	20,764	103.0%	595	20,169	98.6%	-282	20,451	20,272	19,088
集計率	91.3%	97.9%	-2.0%	93.3%	97.5%	-2.4%	95.6%	95.4%	91.4%

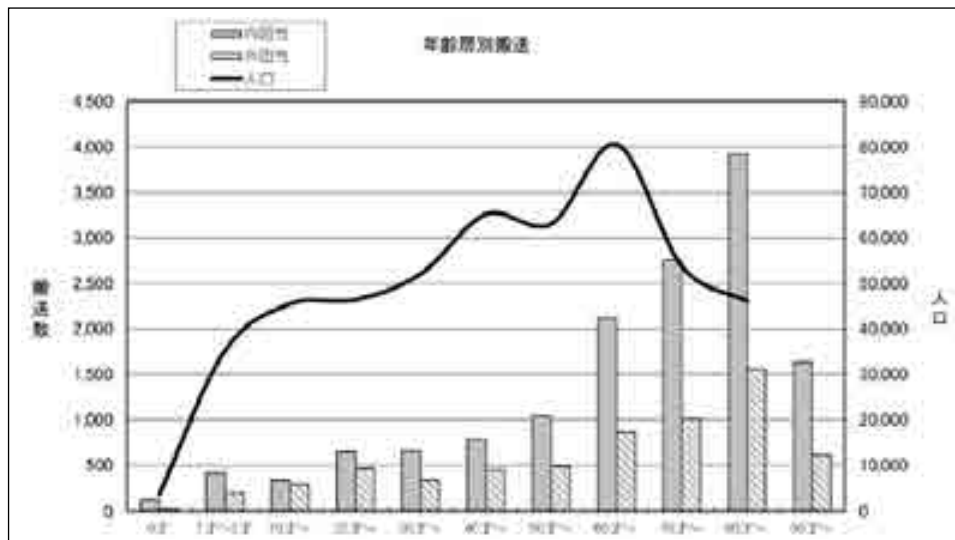
2016年度において内因性疾患は14,449件(69.6%)と前年比500件を超えとなり増加傾向である。外因性疾患は6,315件(30.4%)で過去5年間に於いても6,000件台を推移している。また、過去5年間の推移から内因性疾患への増加傾向がうかがえる。

	2012年度		2013年度		2014年度		2015年度		2016年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
内因性	12,624	66.1%	13,500	66.6%	14,040	68.7%	13,941	69.1%	14,449	69.6%
外因性	6,464	33.9%	6,772	33.4%	6,411	31.3%	6,228	30.9%	6,315	30.4%
合計	19,088	100.0%	20,272	100.0%	20,451	100.0%	20,169	100.0%	20,764	100.0%



## 「2」搬送患者の年齢分布

搬送患者の年齢分布を10才ごとの年齢層別にみると50才代以降の年齢層が上がるにつれ件数が急激に増加し、80代でピークを迎えている。70才以上の搬送比率が55.3%と総搬送の半分以上を占めている。



## 「3」疾患群別内訳

	2016年度		2015年度		2014年度		2013年度		2012年度	
	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比	件数	構成比
内因性計	14,449	69.6%	13,941	69.1%	14,040	68.7%	13,500	66.6%	12,624	66.1%
脳疾患	1,652	8.0%	1,701	8.4%	1,791	8.8%	1,746	8.6%	1,501	7.9%
循環器疾患	1,936	9.3%	1,853	9.2%	2,062	10.1%	1,884	9.3%	1,637	8.6%
呼吸器疾患	2,212	10.7%	2,146	10.6%	2,117	10.4%	1,954	9.6%	1,928	10.1%
消化器疾患	2,499	12.0%	2,307	11.4%	2,305	11.3%	2,116	10.4%	2,204	11.5%
その他	6,150	29.6%	5,934	29.4%	5,765	28.2%	5,800	28.6%	5,354	28.0%
外因性計	6,315	30.4%	6,228	30.9%	6,411	31.3%	6,772	33.4%	6,464	33.9%
外傷(臓器損傷)	414	2.0%	386	1.9%	345	1.7%	365	1.8%	391	2.0%
骨折	2,106	10.1%	2,109	10.5%	2,190	10.7%	2,127	10.5%	1,972	10.3%
その他	3,795	18.3%	3,733	18.5%	3,876	19.0%	4,280	21.1%	4,101	21.5%
総計	20,764	100.0%	20,169	100.0%	20,451	100.0%	20,272	100.0%	19,088	100.0%

2016年度の内因性疾患で搬送された人は14,449人で、うち疾患群でみて最も多かったのは消化器疾患で全体の約12.0%を占めており、次いで呼吸器、循環器、脳疾患の順であった。また、高年齢化に伴い内因性疾患の構成比が増加傾向にあり7割近く(69.6%)が内因性疾患となってきた。外因性疾患の2015年度は6,228人、2016年度は6,315人と87人増加しているものの、ここ数年間は6,000件台を推移している。



#### 〔4〕 転帰

搬送7日目の転帰では全体の3.6%が死亡し、7日間以上の入院（入院中）は38.4%であり、全体の59.8%が入院を要していた。一方、外来のみで帰宅したのは38.1%であった。

内因性疾患は63.5%、外因性疾患は51.2%の割合で入院を要していた。疾患群別にみても内因性疾患では脳疾患が62.2%、呼吸器疾患が62.2%、外因性疾患では外傷（臓器損傷）が58.7%、骨折が69.0%と入院中の転帰が最も高かった。

2015年度との比較では、内因性疾患では脳疾患は減少しているものの循環器疾患、呼吸器疾患、消化器疾患は増加しており、外因性疾患においてはそれぞれの疾患群で微増であった。

#### 疾患群別搬送7日後の転帰

	2015年度	2016年度								
		外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明	
脳疾患	1,701	1,652 (100.0%)	199 (12.0%)	1,028 (62.2%)	215 (13.0%)	71 (4.3%)	55 (3.3%)	13 (0.8%)	68 (4.1%)	3 (0.2%)
循環器疾患	1,853	1,936 (100.0%)	424 (21.9%)	853 (44.1%)	305 (15.8%)	79 (4.1%)	43 (2.2%)	129 (6.7%)	83 (4.3%)	20 (1.0%)
呼吸器疾患	2,146	2,212 (100.0%)	370 (16.7%)	1,376 (62.2%)	279 (12.6%)	29 (1.3%)	33 (1.5%)	27 (1.2%)	89 (4.0%)	9 (0.4%)
消化器疾患	2,307	2,499 (100.0%)	760 (30.4%)	1,018 (40.7%)	515 (20.6%)	51 (2.0%)	64 (2.6%)	9 (0.4%)	65 (2.6%)	17 (0.7%)
その他	5,934	6,150 (100.0%)	3,178 (51.7%)	1,536 (25.0%)	1,057 (17.2%)	82 (1.3%)	103 (1.7%)	92 (1.5%)	68 (1.1%)	34 (0.6%)
内因性計	13,941	14,449 (100.0%)	4,931 (34.1%)	5,811 (40.2%)	2,371 (16.4%)	312 (2.2%)	298 (2.1%)	270 (1.9%)	373 (2.6%)	83 (0.6%)
外傷(臓器損傷)	386	414 (100.0%)	21 (5.1%)	243 (58.7%)	83 (20.0%)	18 (4.3%)	24 (5.8%)	4 (1.0%)	16 (3.9%)	5 (1.2%)
骨折	2,109	2,106 (100.0%)	304 (14.4%)	1,454 (69.0%)	164 (7.8%)	63 (3.0%)	105 (5.0%)	0 (0.0%)	3 (0.1%)	13 (0.6%)
その他	3,733	3,795 (100.0%)	2,645 (69.7%)	461 (12.1%)	512 (13.5%)	41 (1.1%)	38 (1.0%)	57 (1.5%)	13 (0.3%)	28 (0.7%)
外因性計	6,228	6,315 (100.0%)	2,970 (47.0%)	2,158 (34.2%)	759 (12.0%)	122 (1.9%)	167 (2.6%)	61 (1.0%)	32 (0.5%)	46 (0.7%)
総計	20,169	20,764 (100.0%)	7,901 (38.1%)	7,969 (38.4%)	3,130 (15.1%)	434 (2.1%)	465 (2.2%)	331 (1.6%)	405 (2.0%)	129 (0.6%)

#### 疾患群別搬送7日後の転帰（2015年度比較）

前年度差異(件数)	合計	外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明
内因性計	508	480	153	-150	37	-53	28	1	12
外因性計	87	53	-20	54	19	-10	-13	1	3
総計	595	533	133	-96	56	-63	15	2	15

### ③ 疾患群別詳細 (2015年4月～2016年3月)

#### 疾患群別搬送数

内 因 性	2015年度	2016年度								
		外来のみ	入 院 中	退 院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不 明	
<b>脳疾患</b>	1,701	1,652	199	1,028	215	71	55	13	68	3
1 脳内出血	291	274	7	183	18	19	14	5	28	0
2 くも膜下出血	68	94	4	61	2	8	1	6	12	0
3 脳 梗 塞	709	718	28	570	58	14	25	1	21	1
9 脳疾患その他	633	566	160	214	137	30	15	1	7	2
<b>循環器疾患</b>	1,853	1,936	424	853	305	79	43	129	83	20
1 急性心筋梗塞	357	336	11	202	54	18	8	20	16	7
2 狭 心 症	163	139	41	30	58	3	6	0	0	1
3 急性大動脈解離	108	148	10	63	11	15	4	32	12	1
9 心疾患その他	1,225	1,313	362	558	182	43	25	77	55	11
<b>呼吸器疾患</b>	2,146	2,212	370	1,376	279	29	33	27	89	9
1 気管支喘息	137	118	49	41	28	0	0	0	0	0
2 肺 炎	1,330	1,380	108	1,024	137	13	19	11	63	5
3 COPDの急性増悪	95	95	14	65	6	2	0	5	3	0
9 呼吸器その他	584	619	199	246	108	14	14	11	23	4
<b>消化器疾患</b>	2,307	2,499	760	1,018	515	51	64	9	65	17
1 消化器出血	317	307	25	165	86	7	14	6	2	2
2 穿孔性腹膜炎	121	109	3	81	2	10	6	1	6	0
9 消化器その他	1,869	2,083	732	772	427	34	44	2	57	15
<b>その他</b>	5,934	6,150	3,178	1,536	1,057	82	103	92	68	34
1 精神科疾患	503	548	335	109	86	0	13	0	1	4
2 婦人科疾患	393	370	50	156	135	10	17	0	1	1
3 分類困難	830	867	630	91	126	6	9	0	0	5
9 その他内因性疾患	4,208	4,365	2,163	1,180	710	66	64	92	66	24
<b>内 因 性 計</b>	13,941	14,449	4,931	5,811	2,371	312	298	270	373	83
(%)	(69.1%)	(69.6%)	(62.4%)	(72.9%)	(75.8%)	(71.9%)	(64.1%)	(81.6%)	(92.1%)	(64.3%)

外 因 性	2015年度	2016年度								
		外来のみ	入 院 中	退 院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不 明	
<b>外傷</b>	386	414	21	243	83	18	24	4	16	5
1 外傷性頭蓋内出血	342	343	19	206	66	11	24	1	13	3
2 心・大血管・肺損傷	34	48	2	26	12	3	0	3	2	0
3 腹部臓器損傷	10	23	0	11	5	4	0	0	1	2
<b>骨折</b>	2,109	2,106	304	1,454	164	63	105	0	3	13
1 骨 盤 骨 折	141	125	11	94	8	2	10	0	0	0
2 大腿骨頸部骨折	675	675	13	553	28	30	43	0	3	5
9 その他骨折	1,293	1,306	280	807	128	31	52	0	0	8
<b>その他1</b>	131	108	32	20	9	7	0	29	9	2
1 重傷多発外傷	24	9	0	2	1	2	0	4	0	0
2 脊 髄 損 傷	39	22	4	12	0	5	0	0	0	1
3 窒 息	68	77	28	6	8	0	0	25	9	1
<b>その他2</b>	3,602	3,687	2,613	441	503	34	38	28	4	26
1 熱 傷	39	55	24	18	6	2	1	1	2	1
2 溺 水	23	24	1	1	1	0	0	20	1	0
3 中 毒	534	517	285	60	156	4	8	2	0	2
9 その他外傷	3,006	3,091	2,303	362	340	28	29	5	1	23
<b>外 因 性 計</b>	6,228	6,315	2,970	2,158	759	122	167	61	32	46
(%)	(30.9%)	(30.4%)	(37.6%)	(27.1%)	(24.2%)	(28.1%)	(35.9%)	(18.4%)	(7.9%)	(35.7%)

<b>総 計</b>	20,169	20,764	7,901	7,969	3,130	434	465	331	405	129
(%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)

#### ④ CPA症例

2012～2016年度の5年間に於けるCPAもしくは外来死亡について、疾患別に件数を示す。この5年間で内因性疾患の構成比が5%増加しており8割以上が内因性疾患となってきた。

##### 疾患群別搬送数（CPA症例）

内 因 性	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
<b>脳疾患</b>	27	26	25	33	20
脳内出血	8	10	10	9	5
くも膜下出血	10	1	11	13	5
脳梗塞	4	5	1	2	4
脳疾患その他	5	10	3	9	6
<b>循環器疾患</b>	184	170	197	179	178
急性心筋梗塞	40	39	49	64	51
狭心症	1	1	2	1	1
急性大動脈解離	36	22	34	34	26
心疾患その他	107	108	112	80	100
<b>呼吸器疾患</b>	46	49	43	42	27
気管支喘息	0	0	0	0	1
肺炎	23	29	25	22	11
COPDの急性増悪	6	1	3	3	2
呼吸器その他	17	19	15	17	13
<b>消化器疾患</b>	16	18	19	15	9
消化器出血	7	5	9	4	4
穿孔性腹膜炎	2	2	1	3	2
消化器その他	7	11	9	8	3
<b>その他</b>	114	97	86	86	92
精神科疾患	0	0	1	0	0
婦人科疾患	0	1	3	1	0
分類困難	0	1	10	6	0
その他内因性疾患	114	95	72	79	92
<b>内 因 性 計</b>	387	360	370	355	326
<b>構 成 比</b>	82.0%	78.8%	81.9%	78.7%	77.3%

外 因 性	2016年度	2015年度	2014年度	2013年度	2012年度
<b>外傷</b>	9	12	12	7	11
外傷性頭蓋内出血	4	4	7	5	2
心・大血管・肺損傷	4	7	3	2	8
腹部臓器損傷	1	1	2	0	1
<b>骨折</b>	3	3	4	1	2
骨盤骨折	0	0	3	1	1
大腿骨頸部骨折	2	1	0	0	1
その他骨折	1	2	1	0	0
<b>その他</b>	73	82	66	88	83
重傷多発外傷	4	8	5	5	11
脊髄損傷	0	0	2	1	4
窒息	35	44	31	50	39
熱傷	2	0	1	0	2
溺水	21	19	19	22	16
中毒	4	1	0	1	5
その他外傷	7	10	8	9	6
<b>外 因 性 計</b>	85	97	82	96	96
<b>構 成 比</b>	18.0%	21.2%	18.1%	21.3%	22.7%
<b>総 計</b>	472	457	452	451	422

##### 疾患群別構成比（CPA症例）



## ⑤ 高齢者について

2016年度における70才以上の高齢者の搬送は11,492件（全搬送の55.3%）で、半数以上が入院を要したものであり70才未満と比較して、転帰、疾患分布に明らかな差がみられる。転帰に関して入院を要したものは、70才以上が約71.5%に対し70才未満では約45.2%と高齢者の方が入院に至る割合が明らかに高い。

### 転帰別における高齢者（70歳以上）比率

70才以上		外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明	
2016年度	件数	11,492	2,978	5,754	1,547	264	323	233	319	74
	構成比	(100.0%)	(25.9%)	(50.1%)	(13.5%)	(2.3%)	(2.8%)	(2.0%)	(2.8%)	(0.6%)
2015年度	件数	10,906	2,559	5,637	1,550	216	339	234	305	66
	構成比	(100.0%)	(23.5%)	(51.7%)	(14.2%)	(2.0%)	(3.1%)	(2.1%)	(2.8%)	(0.6%)
2014年度	件数	11,054	2,570	6,017	1,376	147	330	211	326	77
	構成比	(100.0%)	(23.2%)	(54.4%)	(12.4%)	(1.3%)	(3.0%)	(1.9%)	(2.9%)	(0.7%)
2013年度	件数	10,860	2,723	5,741	1,302	176	276	234	315	93
	構成比	(100.0%)	(25.1%)	(52.9%)	(12.0%)	(1.6%)	(2.5%)	(2.2%)	(2.9%)	(0.9%)
2012年度	件数	10,109	2,504	5,191	1,392	164	232	200	295	131
	構成比	(100.0%)	(24.8%)	(51.4%)	(13.8%)	(1.6%)	(2.3%)	(2.0%)	(2.9%)	(1.3%)
70才未満		外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明	
2016年度	件数	9,272	4,923	2,215	1,583	170	142	98	86	55
	構成比	(100.0%)	(53.1%)	(23.9%)	(17.1%)	(1.8%)	(1.5%)	(1.1%)	(0.9%)	(0.6%)
2015年度	件数	9,263	4,809	2,199	1,676	162	189	82	98	48
	構成比	(100.0%)	(51.9%)	(23.7%)	(18.1%)	(1.7%)	(2.0%)	(0.9%)	(1.1%)	(0.5%)
2014年度	件数	9,397	4,889	2,411	1,527	136	198	104	81	51
	構成比	(100.0%)	(52.0%)	(25.7%)	(16.2%)	(1.4%)	(2.1%)	(1.1%)	(0.9%)	(0.5%)
2013年度	件数	9,412	5,134	2,263	1,417	139	196	99	87	77
	構成比	(100.0%)	(54.5%)	(24.0%)	(15.1%)	(1.5%)	(2.1%)	(1.1%)	(0.9%)	(0.8%)
2012年度	件数	8,979	4,812	2,016	1,532	133	173	95	88	130
	構成比	(100.0%)	(53.6%)	(22.5%)	(17.1%)	(1.5%)	(1.9%)	(1.1%)	(1.0%)	(1.4%)
合計		外来のみ	入院中	退院	高次転院	その他転院	外来死亡	入院死亡	不明	
2016年度	件数	20,764	7,901	7,969	3,130	434	465	331	405	129
	構成比	(100.0%)	(38.1%)	(38.4%)	(15.1%)	(2.1%)	(2.2%)	(1.6%)	(2.0%)	(0.6%)
2015年度	件数	20,169	7,368	7,836	3,226	378	528	316	403	114
	構成比	(100.0%)	(36.5%)	(38.9%)	(16.0%)	(1.9%)	(2.6%)	(1.6%)	(2.0%)	(0.6%)
2014年度	件数	20,451	7,459	8,428	2,903	283	528	315	407	128
	構成比	(100.0%)	(36.5%)	(41.2%)	(14.2%)	(1.4%)	(2.6%)	(1.5%)	(2.0%)	(0.6%)
2013年度	件数	20,272	7,857	8,004	2,719	315	472	333	402	170
	構成比	(100.0%)	(38.8%)	(39.5%)	(13.4%)	(1.6%)	(2.3%)	(1.6%)	(2.0%)	(0.8%)
2012年度	件数	19,088	7,316	7,207	2,924	297	405	295	383	261
	構成比	(100.0%)	(38.3%)	(37.8%)	(15.3%)	(1.6%)	(2.1%)	(1.5%)	(2.0%)	(1.4%)

### 疾患別における高齢者（70歳以上）比率

70才以上			内因性					外因性		
			脳疾患	循環器疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	その他	外傷	骨折	その他
2016年度	件数	11,492	1,055	1,354	1,681	1,365	2,850	262	1,483	1,442
	構成比	(55.3%)	(9.2%)	(11.8%)	(14.6%)	(11.9%)	(24.8%)	(2.3%)	(12.9%)	(12.5%)
2015年度	件数	10,906	1,107	1,331	1,569	1,217	2,668	266	1,492	1,256
	構成比	(54.1%)	(10.2%)	(12.2%)	(14.4%)	(11.2%)	(24.5%)	(2.4%)	(13.7%)	(11.5%)
2014年度	件数	11,054	1,054	1,442	1,625	1,235	2,659	201	1,513	1,325
	構成比	(54.1%)	(9.5%)	(13.0%)	(14.7%)	(11.2%)	(24.1%)	(1.8%)	(13.7%)	(12.0%)
2013年度	件数	10,860	1,114	1,316	1,460	1,146	2,679	236	1,465	1,444
	構成比	(53.6%)	(10.3%)	(12.1%)	(13.4%)	(10.6%)	(24.7%)	(2.2%)	(13.5%)	(13.3%)
2012年度	件数	10,109	959	1,158	1,471	1,155	2,440	241	1,349	1,336
	構成比	(53.0%)	(9.5%)	(11.5%)	(14.6%)	(11.4%)	(24.1%)	(2.4%)	(13.3%)	(13.2%)
70才未満			内因性					外因性		
			脳疾患	循環器疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	その他	外傷	骨折	その他
2016年度	件数	9,272	597	582	531	1,134	3,300	152	623	2,353
	構成比	(44.7%)	(6.4%)	(6.3%)	(5.7%)	(12.2%)	(35.6%)	(1.6%)	(6.7%)	(25.4%)
2015年度	件数	9,263	594	522	577	1,090	3,266	120	617	2,477
	構成比	(45.9%)	(6.4%)	(5.6%)	(6.2%)	(11.8%)	(35.3%)	(1.3%)	(6.7%)	(26.7%)
2014年度	件数	9,397	737	620	492	1,070	3,106	144	677	2,551
	構成比	(45.9%)	(7.8%)	(6.6%)	(5.2%)	(11.4%)	(33.1%)	(1.5%)	(7.2%)	(27.1%)
2013年度	件数	9,412	632	568	494	970	3,121	129	662	2,836
	構成比	(46.4%)	(6.7%)	(6.0%)	(5.2%)	(10.3%)	(33.2%)	(1.4%)	(7.0%)	(30.1%)
2012年度	件数	8,979	542	479	457	1,049	2,914	150	623	2,765
	構成比	(47.0%)	(6.0%)	(5.3%)	(5.1%)	(11.7%)	(32.5%)	(1.7%)	(6.9%)	(30.8%)
合計			内因性					外因性		
			脳疾患	循環器疾患	呼吸器疾患	消化器疾患	その他	外傷	骨折	その他
2016年度	件数	20,764	1,652	1,936	2,212	2,499	6,150	414	2,106	3,795
	構成比	(100.0%)	(8.0%)	(9.3%)	(10.7%)	(12.0%)	(29.6%)	(2.0%)	(10.1%)	(18.3%)
2015年度	件数	20,169	1,701	1,853	2,146	2,307	5,934	386	2,109	3,733
	構成比	(100.0%)	(8.4%)	(9.2%)	(10.6%)	(11.4%)	(29.4%)	(1.9%)	(10.5%)	(18.5%)
2014年度	件数	20,451	1,791	2,062	2,117	2,305	5,765	345	2,190	3,876
	構成比	(100.0%)	(8.8%)	(10.1%)	(10.4%)	(11.3%)	(28.2%)	(1.7%)	(10.7%)	(19.0%)
2013年度	件数	20,272	1,746	1,884	1,954	2,116	5,800	365	2,127	4,280
	構成比	(100.0%)	(8.6%)	(9.3%)	(9.6%)	(10.4%)	(28.6%)	(1.8%)	(10.5%)	(21.1%)
2012年度	件数	19,088	1,501	1,637	1,928	2,204	5,354	391	1,972	4,101
	構成比	(100.0%)	(7.9%)	(8.6%)	(10.1%)	(11.5%)	(28.0%)	(2.0%)	(10.3%)	(21.5%)

疾患群別で70歳以上の高齢者で比率が高いものは内因性では呼吸器疾患、循環器疾患、消化器疾患、外因性では骨折となっている。70歳以上での内因性の比率は72.3%に対し、70歳未満では66.2%と高齢者の方が高い。



## ⑥ 救急搬送発生場所について

長崎地域では搬送発生場所を8種に分け分類している。これらを4分類に集約して搬送数、年齢階層、疾患群の分析を2年分のデータ（2015年度～2016年度）を用いて行った。

発生場所	分析用発生場所
住 宅	住 宅
医 院	医療機関
病 院	
グループホーム	介護施設
老人ホーム(その他)	
老人ホーム(特別養護)	
老人保健施設	
その他の場所	その他の場所

### 男女別構成

発生場所	2016年度						2015年度					
	搬送数			全体 構成比	男女構成比		搬送数			全体 構成比	男女構成比	
	合 計	男	女		男	女	合 計	男	女		男	女
住 宅	11,138	5,188	5,950	53.6%	46.6%	53.4%	10,445	4,878	5,567	51.8%	46.7%	53.3%
医 療 機 関	3,182	1,478	1,704	15.3%	46.4%	53.6%	3,215	1,521	1,694	15.9%	47.3%	52.7%
介 護 施 設	1,536	467	1,069	7.4%	30.4%	69.6%	1,462	437	1,025	7.2%	29.9%	70.1%
その他の場所	4,908	2,858	2,050	23.6%	58.2%	41.8%	5,047	3,025	2,022	25.0%	59.9%	40.1%
合 計	20,764	9,991	10,773	100.0%	48.1%	51.9%	20,169	9,861	10,308	100.0%	48.9%	51.1%

### 年齢階層別構成

#### 2016年度

発生場所	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合 計
住 宅	491	191	401	375	587	785	1,639	2,326	3,192	1,151	11,138
医 療 機 関	135	45	110	211	148	183	435	595	1,000	320	3,182
介 護 施 設	0	1	3	3	5	10	42	155	661	656	1,536
その他の場所	139	399	606	406	502	558	862	691	620	125	4,908
合 計	765	636	1,120	995	1,242	1,536	2,978	3,767	5,473	2,252	20,764

#### 2015年度

発生場所	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上	合 計
住 宅	539	179	357	369	565	793	1,485	2,139	3,016	1,003	10,445
医 療 機 関	137	47	153	210	130	207	422	622	971	316	3,215
介 護 施 設	0	1	2	1	3	11	49	168	700	527	1,462
その他の場所	163	392	581	494	572	600	801	755	580	109	5,047
合 計	839	619	1,093	1,074	1,270	1,611	2,757	3,684	5,267	1,955	20,169

住宅、医療機関では60歳、70歳、80歳代が中心であり、介護施設はひと回り年齢層が上がっていることが分かる。その他の場所では高齢者の搬送割合も高いが、若年層においても高い。

## 疾患分類別構成

2016年度

疾患群	合計	搬送数				構成比			
		住宅	医療機関	介護施設	その他の場所	住宅	医療機関	介護施設	その他の場所
内因性計	14,449	8,469	2,598	1,239	2,143	58.6%	18.0%	8.6%	14.8%
脳疾患	1,652	908	378	151	215	55.0%	22.9%	9.1%	13.0%
循環器疾患	1,936	1,003	502	191	240	51.8%	25.9%	9.9%	12.4%
呼吸器疾患	2,212	1,278	401	408	125	57.8%	18.1%	18.4%	5.7%
消化器疾患	2,499	1,557	533	137	272	62.3%	21.3%	5.5%	10.9%
その他	6,150	3,723	784	352	1,291	60.5%	12.7%	5.7%	21.0%
外因性計	6,315	2,669	584	297	2,765	42.3%	9.2%	4.7%	43.8%
外傷(臓器損傷)	414	113	145	19	137	27.3%	35.0%	4.6%	33.1%
骨折	2,106	1,067	280	159	600	50.7%	13.3%	7.5%	28.5%
その他	3,795	1,489	159	119	2,028	39.2%	4.2%	3.1%	53.4%
合計	20,764	11,138	3,182	1,536	4,908	53.6%	15.3%	7.4%	23.6%

2015年度

疾患群	合計	搬送数				構成比			
		住宅	医療機関	介護施設	その他の場所	住宅	医療機関	介護施設	その他の場所
内因性計	13,941	7,939	2,648	1,221	2,133	56.9%	19.0%	8.8%	15.3%
脳疾患	1,701	878	377	198	248	51.6%	22.2%	11.6%	14.6%
循環器疾患	1,853	925	546	174	208	49.9%	29.5%	9.4%	11.2%
呼吸器疾患	2,146	1,187	436	386	137	55.3%	20.3%	18.0%	6.4%
消化器疾患	2,307	1,441	488	133	245	62.5%	21.2%	5.8%	10.6%
その他	5,934	3,508	801	330	1,295	59.1%	13.5%	5.6%	21.8%
外因性計	6,228	2,506	567	241	2,914	40.2%	9.1%	3.9%	46.8%
外傷(臓器損傷)	386	102	128	14	142	26.4%	33.2%	3.6%	36.8%
骨折	2,109	1,052	272	142	643	49.9%	12.9%	6.7%	30.5%
その他	3,733	1,352	167	85	2,129	36.2%	4.5%	2.3%	57.0%
合計	20,169	10,445	3,215	1,462	5,047	51.8%	15.9%	7.2%	25.0%

2015年度、2016年度ともに内因性疾患の搬送場所は住宅からの搬送が半数以上を占めている。外因性疾患は外傷（臓器損傷）では医療機関とその他の場所、骨折では住宅、その他ではその他の場所で大半を占めており発生場所では内因性と外因性との相違があった。